令和３年度　第４回総合教育会議　会議録

１　開催日時　　令和４年１月２７日（木）午後３時００分

２　開催場所　　大町市役所　東大会議室

３　出席委員

	大町市長	牛越　徹
	教育長	荒井今朝一
	同職務代理者	中山晴隆
	委員	仲原直美
	委員	下川清志
	委員	森しのぶ

４　説明のため出席した者

	総務部長	和田泰典
大町市	民生部長	曽根原耕平
	企画財政課長	太田光博
	子育て支援課長	渡辺卓也
	企画財政課企画調整係長	本堂勝也
大町市教育委員会	教育次長	竹内紀雄
	学校教育課長	三原信治
	生涯学習課長	志賀一夫
	スポーツ課長	平林政規
	山岳博物館副館長	清水隆寿
	学校教育課庶務係長	柳澤俊樹

≪開会　午後３時００分≫

竹内教育次長　　皆さんお集まりいただきましてありがとうございます。ただ今から、今年度第４回目となります、大町市総合教育会議を開会いたします。会議の進行を務めます、竹内でございます。よろしくお願いいたします。

早速ではございますが、牛越市長からご挨拶をお願いいたします。

牛越市長　　第４回総合教育会議の開会にあたり、ごあいさつを申し上げます。

本日は、教育委員会の皆様には、オミクロン株のまん延の世相騒がしい中、また、年度末に向けて忙しくなる時期にご出席いただきましてまことにありがとうございます。

また、日頃から教育長並びに教育委員の皆様方におかれましては、子どもたちの健やかな成長を願い、市の教育行政の推進に大

変ご尽力をいただいております。重ねて御礼を申し上げます。

また、この度、教育委員の後任として、昨年、市議会 12 月定例会においてご同意を得、今月 1 日付けで新たに教育委員に就任いただきました森しのぶ委員におかれましては、県ＰＴＡ連合会副会長をお務めになるなど、大変教育分野にご造詣が深いと伺っております。

これから４年間大変お世話になりますが、経験を生かされ、教育行政の推進にお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

さて、今年に入り、新型コロナウイルス感染症、特に変異株のオミクロン株により、全国的に急激に感染が拡大しております。

一昨日、政府の感染症対策本部の会議におきまして、長野県を含む 18 の道府県が、本日 27 日から来月 20 日までを期限とする、まん延防止等重点措置が決定されたところでございます。

つい先ほどですが、県内におきましても、この総合教育会議が始まる前に、阿部知事と市長、町村会の長、そして経済界、県議会の代表、合わせて６人で、ウェブ会議を通じて共同記者会見を開き、長野県民が全員で力を合わせて、この第６波の感染を乗り越えていく、オミクロン株と戦う県民共同宣言を行ったところでございます。

そうした中で、当市におきましても、連日のように感染者が確認されており、昨日現在で全国的には 7 万 1,600 人、また、県内では 500 人をはるかに超える感染が連日、確認されております。

このことから、先ほどの共同宣言でも、このオミクロン株の特性を理解し、何としても感染拡大に歯止めをかけ、ワクチンの追加接種を進めるとともに、ご案内のようにご家庭、或いは事業所でも、皆さんとともに、もう一度初心に立ち返り、感染防止対策の徹底をいただくよう呼びかけてまいりたいと考えております。

一方、明るいニュースもございました。

来月、開幕を迎える北京オリンピックにおきましては、仁科台中学校出身の杉本幸祐選手が、フリースタイルモーグル競技で出場が決まっております。世界で戦いスキーの魅力を多くの人に伝えたいとの決意を語っておられます。晴れの舞台で活躍されることを祈るところでございます。因みに、この杉本選手とバドミントンのリオデジャネイロ、東京大会に連続出場された奥原希望さんとは同級生ということで、机を並べて学んだ二人のオリンピアンが誕生したことに驚きと喜びを感じているところでございます。

また先般、千秋楽を迎えました大相撲の初場所では、上松町出身の御嶽海が３度目の優勝を果たしました。昨日、大関に昇進が決定し、その伝達式の口上では、「自分の持ち味を生かし」という

ことを語られていました。これは中学校の庭に立っていた石碑の言葉だそうですが、晴れの舞台でその言葉を述べたということについても、よく考えますと、個性を伸ばす信州教育の一つの成果ともいえるのではないかと、感慨深いところでございます。

さて、本日の会議事項にあります、第一中学校と仁科台中学校の再編につきましては、新しい中学校として開校を目指し、両校の職員や PTA、さらには学校運営協議会などで構成します再編準備委員会が発足し、具体的な検討が進められております。

昨年 10 月から実施した校名の募集では、106 件もの名称案が寄せられました。このたび、学校再編準備会及び教育委員会で十分検討協議をいただき、それを経て、新中学校の校名の案が選定されました。

本日は、この案についてご協議いただき、新しい学校名の最終的な確認をしてまいりたいと存じます。

また、協議題のもう一つ、新年度から８年度を計画期間とします、市民と行政、さらには、市民同士の協働による生涯学習のまちづくりの指針となります、第５次生涯学習推進プランの案についてご協議をいただくこととしております。

結びに、本日の総合教育会議が、大町の子どもたちにとりまして、望ましい教育環境の充実と、教育の質の向上に繋がりますよう、また、生涯学習につきましては、あらゆる学びの場を包含する学びのプランとして、実効性のある計画となりますよう、私どもも一生懸命取り組んでまいりますので、教育委員の皆様方には引き続き、連携とご協力をお願い申し上げ、開会にあたりましてのご挨拶といたします。

大変お世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。

竹内教育次長　ありがとうございました。

続きまして、荒井教育長からご挨拶をお願いいたします。

荒井教育長　教育委員会としてのご挨拶を一言申し上げます。

コロナ禍の中、とりわけオミクロン株のまん延という大変厳しい中で、そして、まん延防止法の適用がされるという緊急事態の中ですが、こうして、第４回目の総合教育会議の機会を設けていただいたことに感謝とお礼を申し上げます。

市長さんにはとりわけ教育行政について、日ごろから大変、特段のご配慮とご尽力をいただいていることに重ねて感謝と御礼を申し上げたいと思います。ありがとうございます。

さて、ただ今市長さんからお話がございましたように、本日の第４回の総合教育会議では、新中学校の校名の候補案について、また、第５次大町市生涯学習推進プランについての２点についてご協議させていただくということで、議題をご用意いただきました。

新中学校の校名につきましては、ただいま市長さんのごあいさつにもございましたように、それぞれ検討を重ねて、去る今月 21 日の教育委員会におきまして、委員の皆さんによるご協議の上で、３つの候補から、新しい中学校の校名として「大町中学校」というご選定をいただきました。本日は、その経過等について説明をし、そして、市長さんを交えて、最終的な方針を定めていただければと願っております。

また、学校の校章のデザインや校歌、制服等の選定、通学手段等についてもそれぞれ協議を現在進めておりますので、そうした点についても、担当の方からご報告させていただきたいと考えております。

また、生涯学習推進プランにつきましては、市の後期第５次総合計画の策定が進んでおります。これを支えるソフト的な意味合いを含めて、総合的な見地から、また、社会教育等も含めたプランとして、策定案を作成しているところです。

最終的には、これも推進本部会議で決定していきますが、本日、ご協議をいただき、成案としてまとめさせていただきたいと願っているところであります。

大変多岐にわたる内容でございますが、本日の協議が実りある場となることをお願い申し上げ、教育委員会としてのごあいさつとさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

竹内教育次長　ありがとうございました。

次に会議事項に入ります。ここからの進行につきましては、総合教育会議を主宰されます、牛越市長からお願いいたします。

牛越市長　それでは、しばらくの間、進行を務めてまいりますので、円滑な進行にご協力いただきますようお願いいたします。

お手元の次第に従いまして進めます。

最初に（１）新中学校の校名校候補について、説明お願いいたします。

三原学校教育課長　（資料に基づき説明。）

牛越市長　ご説明いただきました。

まず、説明につきましてご質問等ありましたら、お願いします。

では、まず私の方から一つ。

１ページ目、応募件数 183 件とあり、そのうちの校名案が 106 件とあります。差が 80 件近くありますが、この差というのはどういうものでしょうか。

三原学校教育課長　183 件の応募件数は、１人で複数案の応募件数も含めた件数です。校名案 106 件というのは、ダブっている同じ校名案を除いた件数として 106 件としています。

牛越市長　　ここは、「実数」と記載した方が分かりやすいですね。よくわかりました。

１人１件の応募と決まっていたわけではなく、実数で 106 件ということですね。

それでは、これまで絞り込みを進めてきていただいたプロセスをお尋ねしますが、例えば、この３つに絞る過程では、一つには、再編準備委員会等でもご審議いただきましたが、それぞれの校名についてどのような評価があったか、ご説明いただけますか。

三原学校教育課長　　学校再編準備委員会や校名等検討委員会の中でご意見をいただいた中には、この大町という土地をイメージしやすい校名がふさわしいのではないか、というご意見が多く寄せられており、その中で大町という地域をイメージする「大町」や「北アルプス」という案、また、「大町清嶺」つきましては、清らかな水や山なみなど地形や地域をイメージするような、校名案への期待が多く寄せられたと感じております。

牛越市長　　ありがとうございました。

教育委員さんの間で、２回の教育委員会の会議を開いていただき、ご検討いただいたことになりますが、その過程で、この３つの案から絞った経緯で、「思い」はありましたか。

仲原教育委員　　３案どれも素晴らしく、応募していただいた皆さんの土地に対する思いであったり、明るい未来に対する思いだったりとかをすごく感じられるものが出揃っていて非常に悩みました。

ですが、皆全員一致していた部分が、大町いう土地の名前が皆さん大好きなのかな、これからも守っていきたいのだろうなということで、皆さんと協議して決めました。

下川教育委員　　本当にたくさんの校名案を出していただき、私も大変悩みました。先ほど報告いただいたとおりで、やはり大町中学校がいいかなと。

新聞報道の見出しを見て、そこに大町中学校という大きな字を見て、なんかほっとする、安心したという感じを受けました。

定例の委員会の方でお願いした事項ですが、今回皆さんが応募してくださった校名案の命名理由には、新しい中学校に対する期待や願いが書き込まれていました。さらに、中には、大町市への応援メッセージ、エールと思える内容も書いてありました。残念ながらその校名案は今回選定されませんでしたが、その思いや願いは、やはり大切にしないといけないと思っています。これから制作する校歌の歌詞や校章のデザインなどに生かして行けたらと思っています。

牛越市長　　ありがとうございました。

書かれていた新しい学校の開校に期待する声も、ご紹介いただきました。まさにその通りだと思います。

中山教育長職務代理者　この選定にあたっては、新しく教育委員に加わっていただいた森委員さんも大変資料を細かく読んでいただいて、教育委員会の折にも経過も十分理解いただき、この中から絞って出していただいたという経過もありますので、教育委員が一致してこの方向で進めていきたいということになりました。

私の印象では、この校名の募集があった段階では、やはりまだ統合前の仁科台中学校や第一中学校に非常に愛着を持っておられる方がいて、そうしたことから、校名の候補に「仁科」や「大町仁科」、「大町」の名称がついたものもありましたので、選定していく過程の中では、本当にこの大町という地域を代表できるということであったり、校名の中に新しい学校の理念のようなものが入った方がいいのではないかという意見がたくさんありましたが、やはり校名としては、親しみやすい、読みやすい、馴染みやすいなど、市民全体にとって受け入れられやすく、しかも、従前の仁科台や一中という校名に対してそれほどかけ離れていない名前ということで大町中と選定されたことは、本当に良かったのではないかと、この結果については納得しています。

牛越市長　森委員さんは途中からご参画いただいて、このように選ばれたプロセス、それから選ばれた名前について何かご感想がありましたらご発言ください。

森教育委員　私は、校名に何を期待するのかという視点で考えた場合、大町中学校とういう校名にすることで、原点に立ち返り、保護者も地域の方たちも、学校の本質というものを、今一度確認していただく機会になればいいなと思いました。また、先生方が本質的な教育活動ができるようになるのが一番ではないかと思い、私が働き方改革の推進会議に出席していたということもあり、その点から、大町中学校がいいのではないかと思ったところです。

牛越市長　一つ、大町というこの土地そのものを表明するということであれば、再編準備委員会の委員の皆さんの中にも、大町、清嶺と二つを合わせて一つの候補名としてご提案をいただいている点からすれば、大町清嶺という選択もあったかと思いますが、その点についてはいかがでしょうか。

仲原教育委員　大町清嶺も、私も大変気に入っており、大町をイメージとする山と水が両方入った大変美しくて良いイメージの名前であったため、校名等検討委員会では、大町とう名前は付けたいということで付け加えたという経緯がありました。

ただ、私が心配したのは、中学校１年生の子どもたちの、書類上の処理など対して、このように画数が多いことが不便になるのではないかといったところもあり、やはりシンプルな大町という名称が良いのではないかと思いました。

牛越市長　確かに大学試験などでも、校名が複雑、画数が多い故に、その

分だけハンディとお聞きすることがありますので、シンプルイズベストということもあります。

一方で、新しい学校が開校するたびに、例えば、新しく新種ワインが出来た場合には、「新しい酒は新しい皮袋に盛れ」という言葉があるようですが、そうした観点はありませんでしたか。全く新しい校名をつけたらどうかという、そうしたご意見の検討過程はありませんでしたか。

案として３つに絞られた時に、いずれにも属さない新しい校名案はいかがかという意見が、行政側にも実は出ており、そのような意見がプロセスの中でなかったのかどうか。

荒井教育長　　ただ今市長さんのお話にありましたように、検討経過では教育委員皆さんに投げかけ、ご協議をいただきました。

最終的には私が４人の委員の皆さんのご意見をまとめ、この地域、私どもの住んでいるふるさと全体を包括する名前でまとめさせていただいたという経過でございます。

以上でございます。

牛越市長　　この３つの案に絞られた後でも、大町という従来あった名前以外の名前を選択するという余地がなかったか、もちろん募集の際には、現行の「第一中学校」名などは除外するということが明確に記載されておりましたが、除外基準には該当しない「大町」という、かつて使われていた名前を排除するという考えは意見として出されなかったということでよろしいですね。

〔全委員「了承。」〕

わかりました。

実は、私も特に高校などの再編が進む中で、地名の後ろに、何か学校の気概や校風などを表現する、つまり地域名プラス２文字という４文字の組合せのネーミングが、ここ 20 年ほど続いている状況からすると、確かに、かっこいいと思う反面、その意味を理解することは中々難しいのかなと思っていました。

しかしながら、校名がシンプルで、土地や地名に対する愛着が優先するということであれば、なるほど、と本意に至ったところでございます。

また、教育長さんから説明がありましたように、この地域、大町地区を代表するという意味で言えば、現在も美麻地区には美麻小中義務学校が、八坂地区には八坂小学校、中学校があります。

市村合併後もそれぞれの地名を残しているということは、意義があることではないかと、私自身も感じました。

そこで今、委員の皆さんから、教育委員会でしっかりご審議をいただき、本日こうした校名案をご提示いただきしましたので、ここで確認をいただき、お諮りしたいと思います。今後、この大町中学校という案で、議会の全員協議会でご協議いただき、議案

として市議会に提出する、こうした手順を今説明いただいたところでございますが、このように今後進めることとして、ご異議ございませんか。

〔全委員「承認。」〕

ご承認をいただきました。

よって、総合教育会議としての校名案は「大町中学校（案）」に決定させていただきます。

それでは、新中学校の校名の案については以上といたします。

続きまして（２）、第５次大町市生涯学習推進プラン（案）について説明をお願いします。

志賀生涯学習課長　（資料に基づき説明）

牛越市長　概要をご説明いただきました。

ただ今の説明につきまして、何かご質問がありましたらご発言をいただきたいと思います。いかがでしょうか。

森教育委員　「いつでもどこでも誰もが学べる生涯学習の推進」といった文言が、この冊子の中には何回かありますが、取組み方法の概要はわかりましたが具体的なやり方をどこかに提示することは可能でしょうか。市民のご意見を反映させた実現可能な方法が提示されることによって、市民の皆さんの期待度も高まり、学びの実践に繋がっていくのではないかと思います。

牛越市長　「誰でもいつでもどこでも」は、この計画の目指す方向性として提示されています。

具体的にどのような形で進めるかという点について、本編の中で触れている場所がありますか。

志賀生涯学習課長　こちらにつきましては、生涯にわたってという意味で捉えますと、二つ目の柱にあります、「生涯をつうじライフステージに応じた継続的な学びの支援」の中で、それぞれの年代に応じた具体的な計画を掲げてございます。

ただ今ご意見いただきました、市民からの実際の提案など細かい部分については計画という形ではお示してありませんが、それらを総括した内容として表現しているということでご理解いただければと思います。

牛越市長　森委員さん、よろしいですか。

森教育委員　はい。

牛越市長　　本編の目次を開いていただきますと、第４章の基本計画、これがこれまでの基本構想或いはイメージであり、これらを踏まえた具体的な内容だと思いますが、第２節はただ今説明がありましたように、「生涯をつうじライフステージに応じて」という、これはまさに、いつでもということだと思います。そして、そこに共通するのはその上にあります、「市民一人ひとり」がこれは「誰もが、」となり、また、そうした環境を整えるという意味で決まった環境整備というのは、それに当たっているのではないかと思います。

もう一つは、「どんな点についてもどんな分野についても」というところが、生涯学習のもう一つの視点だと思います。

これを見てみますと、例えば、３節にあります、「未来に向けた地域コミュニティの再生と活性化」、まさにこれは行政全体が、教育行政もしかり、生涯学習もそうですが、それを超えて、この地域が一生懸命、取り組んでいかなければいけない「地域課題に対して」という意味では、この地域コミュニティの再生と、活性化の具体的な位置付けになっています。

それから、次のページになりますが、３－３「住民の手による地域づくりの推進」、まさに地域課題を住民主体に考えていこう、そうしたかたちで、或いは交流活動、ＳＤＧｓの推進など、こうした部分がきっと、具体的な道筋を示す項目ではないかというように私自身は解釈したのですが、そのようなことでよろしいでしょうか。

荒井教育長　　生涯学習課長が申し上げたように、総括的な意味もありますが、例えば、一つずつ取り出すと、「誰もが生涯にわたりスポーツ活動に」といように表現しているところもあれば、「誰もがいつでも必要な情報が簡単に得られるように」という表現もあります。

「誰もがいつでもどこでも」という言葉にはいろんな要件があると思いますので、それらを総括して、今のような表現となっているというように、ご理解いただきたいと思います。

ただ、全てが整理されているかどうかを今一度、チェックするように私の方からお願いしたいと思います。

牛越市長　　せっかくの機会でありますので、この生涯学習推進プラン策定の過程で、教育委員さん方のお考えや感想をお聞かせください。

下川教育委員　　私も、森さんのご指摘いただいた、いつでもどこでも誰もが、何でも学べる環境づくり、これは本編の６ページの「まずは行動する」という項目に書いてある文言ですが、私なりにいろいろ体験する中で、これに関しては２点お願いがあります。

１点目は、市のホームページに生涯学習のリーダーバンク、或いはまちづくりの出張講座、サークルグループ紹介というデータベースが載っています。私は、大町にＵターンをして６年目にな

ろうとしていますが、今までこういったサイトがあることを知りませんでした。そこで、今回初めてアクセスしてみましたが、何かを学びたい、或いは何かをやってみたいと思ったときに、役に立つ情報が掲載されていると思いました。

学びを支援する、或いは、学びのきっかけを作るためのデータベースとしてとても良く、有効的に活用できるものだと思っています。そして、こういった情報を手軽に得られる情報発信の方法があればいいなと思いました。

本編の 18 ページに、その辺が少し記述されていて、多様な学習情報の提供という項目の中に、各種情報提供紙の発行やメディアを活用ということが記載されています。

これに加え、先ほど言ったいろいろな学習支援の情報を図書館や公民館などの公共の施設に情報コーナーを設けて掲示する、身近にそのような情報に触れる機会を作ったらいいのではないかと思います。

学びたいという思いのきっかけは、本当にちょっとしたことから生まれる場合も多いので、ホームページにアクセスしなくても、手軽に身近に学習支援情報に触れることができる工夫もお願いしたいと思っています。

このプランの中にそういった細かいことまで書き込むのはどうかという話もあると思いますが、是非、大きな概念を具体的に展開していただければと思っています。

もう１点目は、先ほど市長さんからご紹介していただいた、「いつでもどこでも学べる」という点ですが、オンラインで受講できる講座があればいいなと思いました。

例えば、大町市の自然や歴史文化伝統などについて、専門家が講演した映像を、後日ユーチューブで視聴できる仕組みができたらと思っています。

これまで、幾つかの講演は、ケーブルテレビの自主放送番組として収録されているものがあると思いますが、それらをユーチューブにアップして、というところから始められないかなと思います。

荒井教育長を初め、山岳博物館、文化財センター、エネルギー博物館の専門員の先生の講義は、１回だけのライブ講演で終わらせてしまうのはもったいないと思っています。それらの映像はユーチューブなどを活用して発信し、市内外からもアクセスして情報を得るという環境を作っていただけると、「いつでもどこでも学べる」の一助になるのではないかと思います。

実現するには様々な課題があると思いますが、ご検討をお願いします。

牛越市長　　事務局、18 ページに学習情報の提供の充実ということが記載し

てありますが、こうした中に、具体的な事例なども差し込むことについてはどうでしょうか。

志賀生涯学習課長　　情報提供の部分はきっかけ作りにもなりますし、そういった情報発信の重要性は、十分認識しているとこです。

ただ今のご意見を反映できるような検討、調整を進めて参りたいと考えております。

牛越市長　　今までも教育委員会が中心となって様々な過去の映像など、アーカイブとして蓄積している部分もありますので、その活動も含めてご検討いただきたいと思います。

ありがとうございました。

中山教育長職務代理者　　今までの反省を生かしながら、課題を絞り、具体的にどうするかというような組み立てからすると、構成そのものは非常に市民にわかりやすい形でとてもいいのではないかと思います。

生涯学習について考えた時に、例えば、第４章の具体的なところに書いてあることは、多分、現在の様々な取組みを項目分けしたような形になっているかなと思います。

その中で、ＳＤＧｓの問題や人権の問題についてページめくってみると、一括りになっていますが、本当にこれでいいのかと思っています。人権を道徳の問題として、位置付けているところがどうかと。

例えば、性別記載欄を削るなどの例規改正などは進んでいますが、生涯学習の範疇とは言え、これを道徳とかモラルという問題にするのは本当にいいのかということは、人権の問題も道徳という狭いところに押し込めてしまっていいのかという疑問はあります。

そういう意味からすると例えば、ＳＤＧｓも 17 の目標とその中にさらに細かく 100 幾つかの具体的な目標がありますが、ＳＤＧｓこそ生涯学習のあちらこちらに散りばめられてもいいような内容だと思います。

そうすると、人権という問題を考えた場合、モラルだけではなく例えば、ここの年代別に、幼児期、青年期、老年期などの中にも人権の問題がどこかに入ってこなければおかしいと思います。

全体の組み立ては非常にいいかと思いますが、内容をもう少し、多少ダブってもいいので工夫や修正を加えるべきかと。生涯学習という面からすると、人権問題は非常に中心の課題になるかなと思います。

牛越市長　　ありがとうございました。

今の検討の経過からお答えいただくことはありますか。

志賀生涯学習課長　　貴重なご意見をありがとうございます。

まず人権のことですが、やはり人権の課題となどは人づくりの根底にある基本的な部分だと思いますので、例えば、もう少し、

表現できるよう検討して参りたいと思います。
　また、ＳＤＧｓの関係ですが、只今ご意見をいただきましたように、生涯学習＝ＳＤＧｓというような認識もあります。
　ただ、今回の推進プランにおきましては、たくさんある課題の中でも特にこの大町市の生涯学習プランに適合した部分を取り上げ表現してありますが、先ほどの人権の部分はジェンダーの関係など多岐にわたりますので、改めて考え直していきたいと思います。

牛越市長　　確かにその通りです。私が思ったのは、やはり、この 26 ページの③の道徳教育とモラル、これ自体は表裏一体の問題ですが、人権というものとは軸が違うと思います。ここには余白がありますから、③を二つに分けて、③の後ろにもう一つ④を作り、テーマとして、例えば、喫緊の課題として取り組んでいる市内６地区で行われている人権の集いなどを加えるなど、或いは、障害をお持ちの皆さんに対する偏見や差別の問題については、人権という軸で④を立てたらどうでしょうか。
　特に、ご紹介がありましたように、ＬＧＢＴやトランスジェンダーまで含めて、課題を本質的な課題とすることが、生涯学習の大きなテーマと言えるのではないかと思います。できる範囲でまず見直しが可能であればそのような扱いをお願いします。
　いかがでしょうか。

荒井教育長　　おっしゃる通りだと思います。
　本編の４ページのところ、１から５までは第４次プランの総括とこのプランの目指す方向性が書いてありますが、この中では、地域の協働の原点である支える部分として人権というものを非常に大きく位置付けておりますので、人権を一般的な道徳の課題と一緒にするのではなく、きちんと明確にすべきだと思います。
　事務局と相談して、修正させていただきます。
　それから、ＳＤＧｓについては、教育委員会の時もお話がありましたが、17 項目全部について網羅的にアプローチするのか、それとも大町市の一つの大きなテーマになっている水の共生ということについて主眼を置いた形にしていくのか、少し検討させていただきたいと思います。
　よろしくお願いいたします。

中山教育長職務代理者　　希望とすれば、生涯学習の立場なので、ＳＤＧｓに関してはモラル的なものがいいかと思います。
　市全体の取組みとすれば、水や環境などの取組みでいいかと思いますが、学習という部分ですので、表現を検討するべきと考えます。

牛越市長　　中山教育長職務代理からご指摘がありました、この地域での教育の推進の 26 ページついては、教育長さんのご意見もありました

ように、項目の整理と加筆が必要と考えますので、検討いただきたいと思います。

また、ＳＤＧｓの17のゴールの取り扱いについては、例えば、その一つには、「清潔な水を将来に」という部分との抱き合わせでトイレの整備を関連付けています。世界各国それぞれの地域社会に応じた、そうした取組みをするという意味では、すべてを網羅することは元々無理なことと思いますし、現実的ではないとも思います。また、この生涯学習のカバーするところに、折に触れそれぞれ紐づけをしていくというような考え方、散りばめていくという方法が現実的なのかもしれません。これ等を合わせてご検討いただきたいと思います。

ご感想等がありましたらお願いします。

仲原教育委員　この生涯学習推進プランですが、すごく考えていただいて、分かりやすくできていると思います。

冒頭からプランを全て読み進んでいくと、生きていくということは、こういうことなんだなということが、分かりやすくまとめられていて、市民の皆さんがこれを手にすることがあればいいのになと思います。

最終的に、地域の皆さんが自分の力で築いて、生涯学習につなげていくということはすごく大変な道のりだと思いますが、このような理念を理解した人が一人また一人と増えていくように周知していくことが大切ではないかと思いました。

牛越市長　ありがとうございます。

そうですね。

不磨の大典として、神棚に上げてしまってはいけないという意味で、ご指摘のとおりで身に染みてまいります。

実は、本日午前中の予算編成作業の中で、例えば、「広報おおまち」について、市の施策の特集を組み込んで、大勢の皆さんに直接伝えていく方法はどうだろうかという指摘をいただいております。

市の出来事をお知らせするというのも一つの役割だとも思いますが、やはり主要となるこうした施策について、この素晴らしいプランが仕上がった折には、特集していただくことも合わせて考えていただけないでしょうか。

今からですと、５月号ぐらいになると思いますが、大勢の皆さんに知っていただくところにも引き続き注力をお願いしたいと思います。

また、ボランティアやボランティアリーダーが人材を育てるという項目がありますが、学ぶという立場でありながら、その学んだことを人に伝えていく、或いは、自分で研鑽を深めてさらに高めていく過程で教える立場になるなど、この分野は人に伝えるこ

とができますというそうした仕組みも、もう一つのレベルの少し高い生涯学習の立場だと思います。そういう意味ではやはり、ボランティアバンク、或いはそのバンクを使って様々な分野に学んできたことを伝えるという活動についても、もう少し力を尽くしていただきたいと思っており、現在、社協のボランティアバンクがありますが、リーダーとしてのその働き方というのは生きがいに通じると考えます。勉強したことを大勢の人に伝え、自分でさらに高みに上っているために研鑽を深めることは、生きがいを見出すことにも繋がっていきますので、そういった視点も是非ご検討いただき、付け加えていただければと思います。

教育委員の皆さんから、感想やご意見、ご指摘などをいただいて参りました。

生涯学習推進プラン全体を通じて何か発言ありましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

【意見なし。】

それでは、ご議論いただきました、第５次大町市生涯学習推進プラン案につきましては、一部修正が入りますが、成案として全協議会で説明し、並行してパブリックコメントを進めていくということでご意見はございませんか。

【意見なし。全委員「了承。」】

ご了承いただきました。

それでは、事務局ではそのように取り扱っていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

予定しました二件については以上といたします。

（3）のその他について、事務局から何かございますか。

竹内教育次長　資料の用意はございませんが、口頭でお願いいたします。

学校の再編に関わる件でございます。

昨年９月に学校再編基本計画が策定されて以降５か月程が経過したところでございます。再編計画全体の進捗状況や今後の取組みにつきまして、次回の総合教育会議、例年ですと４月下旬でありますが、ここでご協議をいただきたいと考えております。

これまで準備を進めております、校歌、制服或いは通学に関わることなど、経過を整理し、ご報告させていただくとともに、再編基本計画にあります、小学校再編について１年程度、期間を設けまして詳細に検討していくこととしておりますので、その内容も整理させていただき、これらを含め、新年度の総合教育会議においてご協議調整をお願いしたいと考えております。よろしくお願いいたします。

牛越市長　ただいま教育次長からの学校再編の準備状況についてご案内がありました。

次の総合教育会議では一歩進んだ取組み状況についてご報告いただき、またご議論いただきたいと思います。

ただいまの説明について何かご質問等ございますか。

【意見なし。】

ご出席の皆様から何かご発言がありましたらお願いいたします。

【意見なし。】

その他も特段無いようですので、以上といたします。

それでは、会議事項１から３について、すべて終了いたしましたので、会議事項は以上として、進行を事務局に戻したいと思います。

竹内教育次長　　熱心にご協議いただきありがとうございました。

本日は新しい中学校の校名案をご確認いただきました。

事務局では、引き続き、開校への準備をしっかり進めて参りたいと思います。

それでは、以上をもちまして、本日の総合教育会議を終了とさせていただきます。

ありがとうございました。

≪閉会　午後４時０９分≫